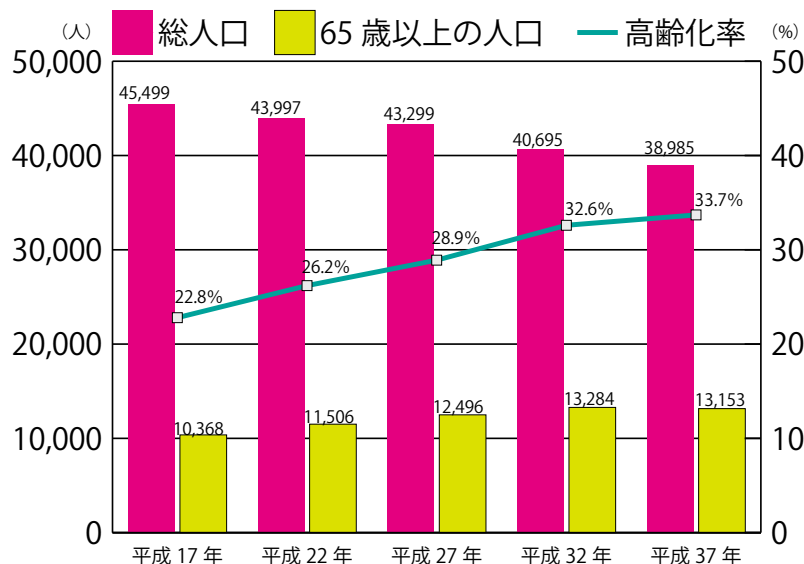


人口と高齢化率の推移



新設の基本的な考え方

これらの状況やいただいたご意見、複合型中心拠点誘導施設全体の計画等を踏まえた上で、施設の規模や設備等について、現在検討をしています。

中心的な機能としては、浴場や大広間を設けることを基本として、公共施設部分の核として整備していくことを考えています。

具体的な事業としては、例えば現在行っている運動教室に加え、市役所などで開催している認知症予防教室の「脳いきいき教室」や、健康寿命の延伸をめざす介護予防教室「健康長寿こもろ教室」、そして介護予防の取組みを地域で進めるための担い手を育成する研修の開催など、介護予防活動の拠点としても充実させていく予定です。

また、現在も多く参加者がいる教養講座や各種相談、高齢者の身近な交流や社会活動の場として大きな役割を果たしている高齢者クラブの活動支援等についても、引き続き実施していく予定です。

現在の「糠塚園」は、デマンドタクシー「こもろ愛のりくん」を利用する場合、他の地区からは一旦市街地を経由しなければ行き来できませんが、中心市街地に整備することで、どの地区からも乗り換えることなく時間を短縮して行き来することができるようになります。そのため、交通手段が不便なために利用できなかった人や、利用しづらかった人にも利用しやすくなることが期待でき、利用者の増加を図ることも可能となります。



複合型施設整備計画の素案について

昨年12月に「複合型中心拠点誘導施設」の整備構想を公表してから、その整備構想について、市民の皆さんをはじめ、関係する団体等の皆さんを対象に説明会や意見交換会を開催し、たくさんのご意見をいただきました。

また、市議会では、5月に「複合型中心拠点誘導施設について」をテーマとして、「議会と語る会」を開催し、市民の皆さんと意見交換を行い、その中で出された意見や要望を取りまとめ、5月31日に市長あてに「市民の声を届ける要望書」が提出されました。

市では、これまでの市民説明会等でいただいたご意見と併せて、今回、議会より提出された要望書の内容について、整備計画や今後の進め方についてできるだけ反映させるよう、現在検討を行っているところです。整備計画素案については、策定でき次第、公表させていただく予定です。

